

プログラマブル・ディレイ (PDLY)

概要

- 4つの動作モードから1つを選択します
 - 立ち上がりエッジ検出
 - 立ち下がりエッジ検出
 - 両エッジ検出
 - 両エッジディレイ

対応デバイス

- 全ての GreenPAK デバイス

遅延時間と出力パルス幅は電源電圧とディレイ・セル数(1~4)によって変化します。

Properties

P DLY/FILTER

Type: P DLY

Mode: Rising edge detector

Delay: 1 Cell

Information

Delay and pulse width

VDD (V)	Delay (ns)	Pulse width (ns)
1.8	48.2	256.7
3.3	20	120.8
5.0	14	110

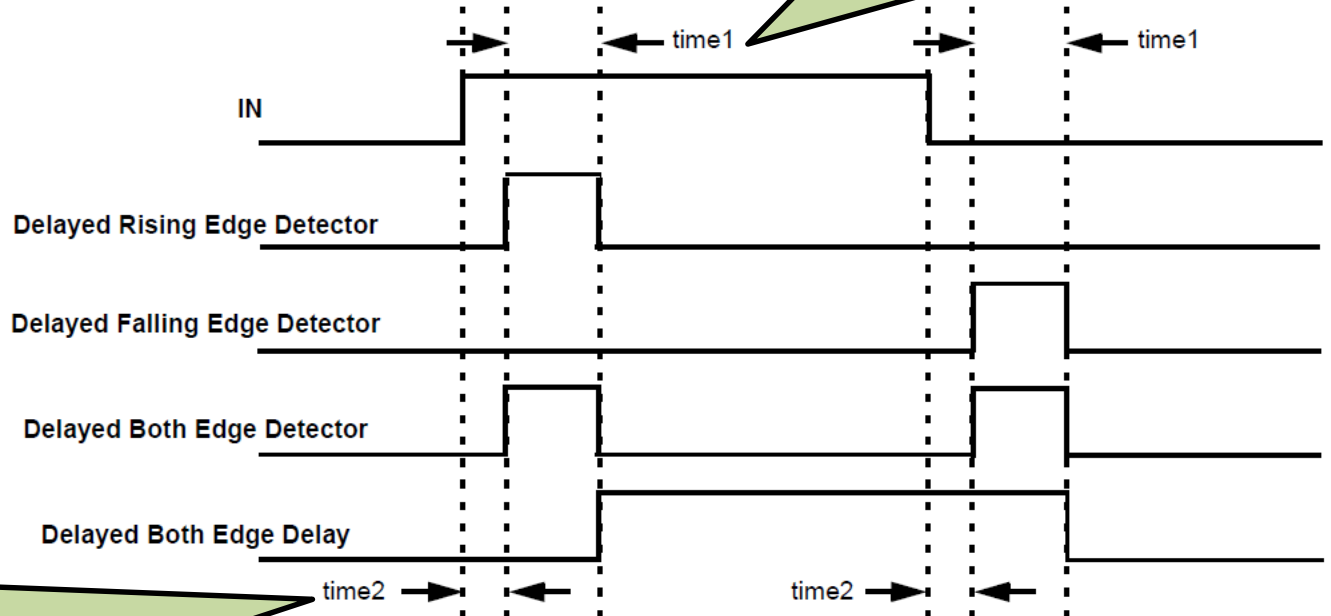
IN → P DLY → OUT

プログラマブル・ディレイの例

プログラマブル・ディレイ (PDLY) - 詳細

- エッジ検出は、該当エッジの検出後、一定幅のパルスを出力します
- 両エッジ・ディレイはディレイ(DLY)と似た動作をします
→ ディレイ(DLY) 参照

パルス幅は電源電圧とディレイ・セル数(1~4)によって変化します



time1 can be set by register
time2 is a fixed value

遅延時間はチップ毎に異なり、電源電圧にも依存します。

デバイスによっては追加の遅延を付加できるものもあります。

プログラマブル・ディレイ、各動作モードの違い